

令和7年度
竹原市景観審議会議事録
(概要版)

日時：令和8年3月18日（水）

10:00～11:10

場所：竹原市役所1階 第4会議室

竹原市建設部都市整備課

○ 次 第

1 開 会

2 会長・副会長の選出

3 報 告

竹原市の景観に関する取組状況について

4 議 題

町並み保存地区周辺地区景観舗装整備方針について

5 閉 会

○ 出席者（8名）

今川 朱美 委員

梅谷 承孝 委員

増谷 昌則 委員

今本 新 委員

檜谷本 浩二 委員

山村 道雄 委員

荒川 幸子 委員

宮崎 信之 委員

○ 事務局

岡崎 建設部長

広近 都市整備課長

中原 文化生涯学習課長

《事務局庶務 都市整備課都市計画係》

景山 係長

小林 主任

1 開会

○開会挨拶（事務局）

- ・定刻になりましたので、ただいまから令和7年度景観審議会を開催いたします。本日は、ご多忙の中、本審議会に出席をいただき誠にありがとうございます。

○挨拶（事務局）

- ・本日の議題については、町並み保存地区周辺地区景観舗装整備方針についてでございます。

景観計画に重点地区として位置づけている、町並み保存地区周辺地区において、石畳の施工後30年以上が経過している箇所や、構造上の問題から修繕が必要となる箇所が年々増加していることから、今後の老朽化対策が課題となっています。

また、令和6年度から上下水道事業による面整備を実施していることから、上下水道整備後の石畳舗装の復旧にあたっては、景観形成の観点と今後のライフサイクルコストを考慮した舗装の復旧を検討する必要があります。

そのため、現在、舗装の整備方針の検討をおこなっています。この整備方針の策定にあたり、委員の皆様におかれましては、忌憚のない御意見を頂ければと存じますので、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

○配布資料確認、委員紹介（事務局）

2 会長・副会長の選任

○事務局

- ・竹原市景観審議会規則第5条第1項の規定により会長・副会長は委員の互選により定められております。委員の方からご推薦いただければと思いますが、いかがでしょうか。

○委員

- ・会長は、専門家である今川委員を推薦します。

（異議なし）

○事務局

- ・委員の皆様のご了解が得られましたので、会長に今川委員を選任します。副会長の選任につきましては、会長から推薦をお願いいたします。

○会長

- ・副会長は、梅谷委員を推薦します。

○事務局

- ・梅谷委員を推薦するご発言がありましたが、いかがでしょうか。

(異議なし)

○事務局

- ・委員の皆様のご了解が得られましたので、副会長に梅谷委員を選任します。

3 報告

○会長

- ・竹原市の景観に関する取組状況について事務局より説明をお願いします。

○事務局

- ・竹原市の景観に関する取組状況について、資料1で説明いたします。

【資料1 事務局説明】

○委員

- ・屋外広告物の申請で景観を阻害するようなものはなかったのか。

○事務局

- ・重点地区には色合いの基準があり、景観を大きく阻害しているものはない。以前は民間店舗でピンク色の看板が既存不適格であったが、店舗が撤退して看板がなくなったため、申請が出ている物件ではない。

○委員

- ・町並み保存地区内で改修を行う場合は景観計画とは別の規制があるが、景観計画で規制されるのは町並み保存地区の周辺地区のみか。

○事務局

- ・町並み保存地区は景観法よりも厳しい規制がかかっているため、周辺地区のみである。

4 議題

○会長

- ・町並み保存地区周辺地区景観舗装整備方針について事務局より説明をお願いします。

○事務局

- ・町並み保存地区周辺地区景観舗装整備方針について、資料2で説明いたします。

【資料2 事務局説明】

○委員

- ・1点目が、資料2の14ページのⅢ-6 仲ノ小路上市線は施工当初は真砂土系の舗装で茶色だった。真砂土系舗装の劣化後である。
- ・2点目が、レンガ舗装については耐久性は十分にあるため、現状レンガによる舗装は施工方法に問題があるのでは。既製品を使うのではなく、地元企業を使ってほしい。受注生産で材料や強度は共通の車道用のインターロッキングブロック舗装の規格を採用すれば、対応できるはず。
- ・3点目が、御影石舗装とインターロッキングブロック舗装の区分けが分かりにくい。本町通りの中央部分の御影石は残さざるを得ないと思うが、他の箇所はインターロッキングブロック舗装でよいのでは。

○事務局

- ・1点目のⅢ-6 仲ノ小路上市線は委員の発言のとおり真砂土系のカラー舗装で、実験的に真砂土系舗装で施工されている箇所である。今後は周辺の路線と合わせる形で黒レンガ風のインターロッキングブロック舗装にすることを考えている。
- ・2点目のレンガ舗装の耐久性については、町並み保存地区は道路は狭いが大きな車両も通行することがあり、車両荷重を考えた形で検討すると、通常の車道にはレンガ舗装を採用していない。事務局としては、道路の構造的にはレンガ舗装自体が車両荷重に耐えられないと判断している。車道の規格による荷重に耐えられるかという条件提示をして、地元企業で受注生産できるか、金額も勘案しながら検討する。
- ・3点目の御影石舗装とインターロッキングブロック舗装の区分けについて、本町通りの中央部分は御影石を採用し、その他の部分は御影石の再利用やインターロッキングブロック舗装を考えている部分になる。下水道・水道工事の影響が道路の半分以上が掘削される箇所はインターロッキングブロック舗装、半分以上既存の御影石が残る路線については、残ってる部分も全部御影石を剥ぎ取ってインターロッキングブロック舗装に変更というのは心苦しい部分もあり、掘削される箇所については御影石の再利用としている。

○委員

- ・本町通りについても黒レンガの交差点が多いが、笠井邸前の交差点は御影石になっており、配列に統一性がない。今回新しい材料で施工する際にルールを決めて統一性のある方針を作成すべき。

- ・インターロッキングブロック舗装にすると、現状と大きく異なり、路面全体が同色になってしまう。現況の御影石やレンガは一つ一つに特徴や味があって個性がある。今回の整備で、そのような個性を出すような工夫は考えているか。

○事務局

- ・事務局でも景観舗装に統一性やルール決めについて何案かイメージパースで提示している。既存の景観を残しつつ、インターロッキングブロックという機能性の高い製品を使用する方向性で、路線毎に統一性を持った案を次回の審議会で提示できればと考えている。基本は現況の形態で、あとは統一感、幅員が何メートルの路線は中央部分の御影石を何列等、今後ルールを方針の中で検討していく。
- ・黒レンガ風インターロッキングブロック舗装の中にアクセントとして既存の黒レンガを、車両があまり通らない箇所での再利用を検討している。9ページのイメージパースに提示しているが、ランダムに黒レンガを入れて風合いを出そうと考えている。

○委員

- ・1つ目は、町並み保存地区内で観光客が増えており、本町通りだけでなく細い路地も意外と歩いている人がいる。私の個人的な意見だが、例えば3ページの左下の細い通りは車も通らないし、人が通るだけなら自然色アスファルト舗装で良いのではないか。
- ・2つ目は、自治会で梅雨前に側溝清掃するが、住民の高齢化や蓋が重いだけでなく、車両通行により舗装が締まって蓋を上げられない状況。家によっては溝掃除したくてもできない状況である。側溝は下水道工事が終わっても、そのまま残るのか。

○事務局

- ・1つ目の細い道は真砂土系舗装を採用することも考えたが、統一感の部分で黒レンガ風の案を提示している。委員からの意見を参考にしながら、住民意見の中にも同様の意見があるので、真砂土系にするコンセプトを整理できるのであれば、検討したい。
- ・2点目の側溝部分については、側溝蓋は平成20年頃に整備したもので、木製から劣化しにくく長持ちする材料であるFRP製に変更している。重たく外しにくいことから課題を感じているが、現時点では側溝蓋はそのままである。側溝自体も道路の水を流さないといけないため、側溝自体も現況のままである。側溝が上がらない理由のほとんどが、車両荷重で縁石が押されて側溝蓋を押し込んでいるので蓋が外れないことであるため、舗装を改修する際に縁石が動かないようアンカーを打って固定する改修を行う予定。蓋の重さは改善されないが、蓋の取り外しは改善されるようになる。

○委員

- ・蓋を外す道具はないか。蓋を引っかけて上げるようなものを考えて、自治会に配布すれば良いのではないか。

○事務局

- ・特注で製作しないといけない。一人で上げるのは難しいので、二人で上げる道具を今後検討していく。

○会長

- ・景観舗装の整備について、統一感やルール決めはしっかりしてほしい。
- ・御影石や黒レンガについて、本町通りでは変わらずに中央部分に御影石を利用することによって、風合いを守っていく。中央部分の周辺がインターロッキングブロック舗装に変更になるが、そこにレンガを散りばめることで、フレキシブルな感じを残していく。加えて中央部分に御影石を1本入れるという小路風のデザインを全体的に展開していくことで、整備の統一感を明確化できればよいと思う。
- ・国外の町並み保存されている地域は交差点が一番きれいで、交差点が絵になるところが多いが、日本では交差点が良い地域があまりない。今回整備を進める中で、交差点のアクセントを竹原から発信できたら全国初の事例になる。非常に難しいことだが、ヒントを見つけたら、事務局に報告したいと思う。
- ・路地に関しては自然色アスファルトでも良いのではという意見があり、併せてルール決めの中で再検討してもらいたい。
- ・レンガ、インターロッキングについては地元企業に相談してみることに。

5 閉会

○事務局

- ・皆様、大変有意義なご意見をいただきましてありがとうございます。次回の竹原市景観審議会については、令和8年6月頃を予定しております。今後も引き続きよろしく願いいたします。以上をもちまして、令和7年度景観審議会を閉会いたします。